

## (2) 東北



東北地域では、景気は新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部に弱さがみられる。

- ・ 鉱工業生産は持ち直している。
- ・ 個人消費はこのところ弱含んでいる。
- ・ 雇用情勢は感染症の影響により、弱い動きとなっているなかで、求人数等の動きに底堅さもみられる。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す（  は上方に変更、  は下方に変更）。

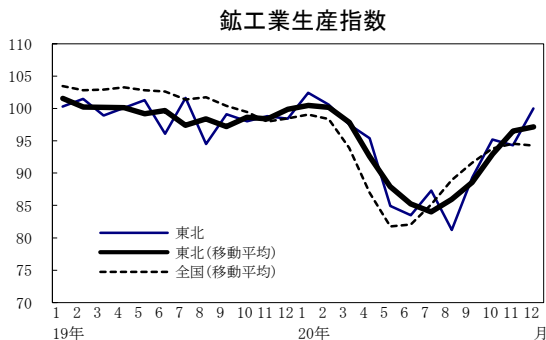
### 前回からの主要変更点

	前回（令和2年12月）	今回（令和3年3月）	
景況判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるが、持ち直しの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部に弱さがみられる	↓
鉱工業生産	持ち直しの動きがみられる	持ち直している	↑
個人消費	持ち直している	このところ弱含んでいる	↓

### 1. 鉱工業生産の動向

鉱工業生産は持ち直している。

10-12月期の鉱工業生産は、電子部品・デバイスが固定コンデンサ等が増加したこと、化学・石油製品はガソリン等が増加したこと等により、前期比12.3%増となった。



(備考) 1. 2015年=100、季節調整値。東北の最新月は速報値。  
2. 全国及び東北の太線は中心3か月移動平均。

直近月は2か月平均。

#### 域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比) (%)

	付加価値 ウェイト	生産				
		7-9 月期	10-12 月期	10月	11月	12月
電子部品・デバイス	15.3	▲11.0	18.9	8.1	5.0	2.5
食料品	11.0	3.7	▲1.1	0.3	▲4.4	0.9
化学・石油製品	9.1	▲5.4	16.5	0.4	▲2.3	▲3.1
輸送機械	7.9	39.6	16.1	1.7	▲1.2	▲2.2
生産用機械	6.7	▲28.8	18.0	12.4	▲2.5	30.3
鉱工業	100.0	▲2.3	12.3	6.6	▲0.9	6.0

(備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い5業種。  
2. 10-12月期、12月は速報値。

## 2. 個人消費の動向

個人消費はこのところ弱含んでいる。

### (1) 地域別消費総合指数 (RDEI (消費))

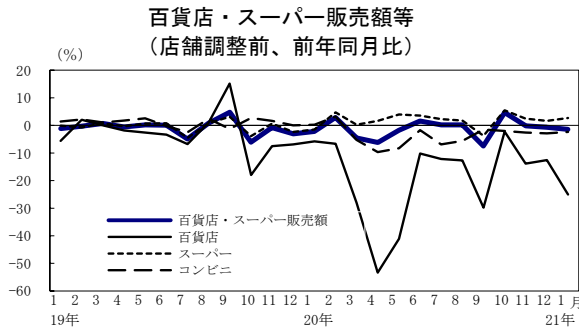
10-12月期は前期比2.4%増となった。月別にみると、10月は前月比0.7%増、11月は同0.7%増、12月は同1.0%減となった。

### (2) 百貨店・スーパー販売額

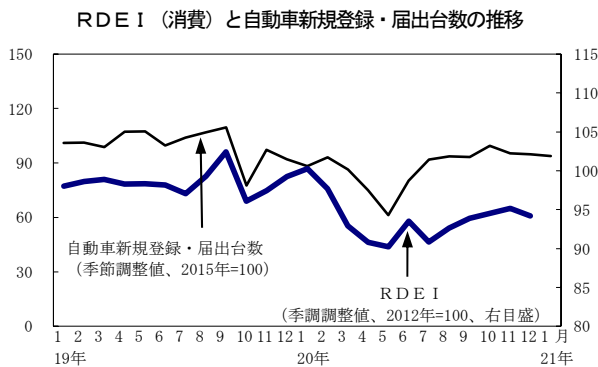
百貨店・スーパーは、10-12月期は前年同期比1.1%増となった。月別にみると、10月は前年同月比4.7%増、11月は同0.1%減、12月は同0.7%減となった。

百貨店は、10-12月期は前年同期比10.3%減となった。

スーパーは、10-12月期は同3.1%増となった。



	2020年 10-12月	2020年 10月	11月	12月	2021年 1月
RDEI (消費*1)	2.4	0.7	0.7	▲1.0	—
百貨店・スーパー(*2)	1.1	4.7	▲0.1	▲0.7	▲1.4
百貨店(*2)	▲10.3	▲2.2	▲13.9	▲12.6	▲25.0
スーパー(*2)	3.1	5.5	2.5	1.6	2.7
コンビニ(*2)	▲2.5	▲2.0	▲2.6	▲2.9	▲2.4
乗用車(*3)	8.8	27.3	▲1.9	3.7	3.4
(季節調整値)(*3)	3.8	6.6	▲4.2	▲0.5	▲0.9



(備考) 1. 季節調整前前期(月)比 (%)

2. 店舗調整前、前年同期(月)比 (%)

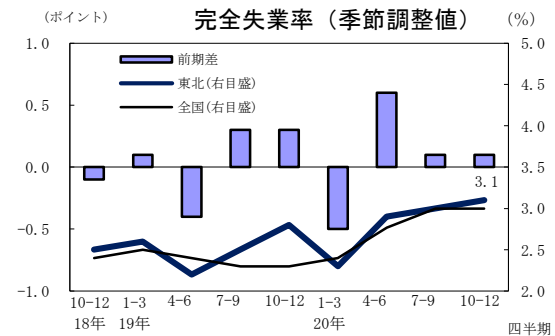
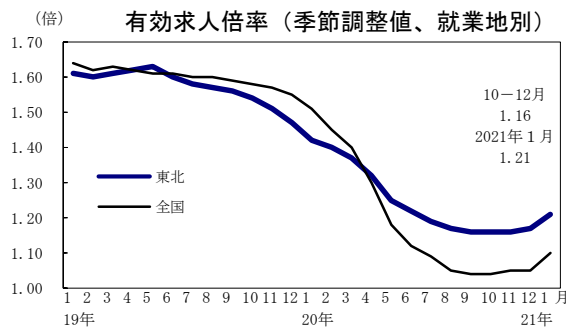
2021年1月は速報値。

3. 乗用車は、新規登録・届出台数(上段は前年同期(月)比(%))

## 3. 雇用情勢

雇用情勢は感染症の影響により、弱い動きとなっているなかで、求人数等の動きに底堅さもみられる。

有効求人倍率は低下している。完全失業率は前期を上回っている。



(13) 景気ウォッチャー調査 (令和3年1月調査) 景気判断理由の概要

2. 東北

( 良、 やや良、 不変、 やや悪、 ×悪)

分野		判断	判断の理由
現状	家計 動向 関連	×	・新型コロナウイルス感染者増加及び積雪や寒波の影響で、商店街への客足が減少している (商店街)
			・当地区は時間短縮営業の要請があり営業時間は22時までだが、実際は21時頃に営業を終えているので、来客数は通常よりも激減している (一般レストラン)
	企業 動向 関連	×	・寒さのお陰で暖房商品の売行きが好調である。白物家電を中心に単価が高くなっていて、黒物家電も前年並みである。よって、前年よりも少し好調である (家電量販店)
			・新型コロナウイルスの感染者数が増加しており、飲食、ホテル、観光業は依然厳しい状況が続いている (金融業)
雇用 関連	×	・新型コロナウイルスの影響はいまだに継続しており、客の反応は厳しいものがある (通信業)	
		・新型コロナウイルス感染拡大、緊急事態宣言、Go Toキャンペーンの一時停止により、年明けから人の動きが停滞している。取引先である観光関連施設は休業する店舗も出てきており、受注もほとんどないため、工場の稼働も縮小している (食料品製造業)	
その他の特徴 コメント			・新型コロナウイルス感染拡大の影響がある (新聞社 [求人広告]) ・飲食店業界は非常に厳しい状況が続いているが、一方で、電子商取引のシステムや提案をしている企業は非常に堅調である。あるいは、スーパーの企業も求人活動を開始したり、大卒の採用の準備を始めたりしている。そういう意味では、業界、業種によって差はあるが、やや持ち直してきているという印象を受ける (人材派遣会社) ・雇用調整助成金の申請数が増加している (職業安定所) ・新型コロナウイルスの影響は一向に改善されず、失業者が増大している (人材派遣会社)
			：コロナ禍で1人当たりの買上金額も上がり、客単価の伸びが著しくなっている (コンビニ) ：雪で天候が悪かったこともあって来客数が減少しており、悪戦苦闘が続いている (住関連専門店)
先行き	家計 動向 関連		・3月から新しいシーズンに入るが、現在の緊急事態宣言の動向を含めて、新型コロナウイルスの動向次第になるので、見通しが付かない (遊園地)
			・3か月先の先行予約状況としては一般団体の旅行案件はいまだにゼロ状態であり、Go To Travelキャンペーンの全国一時停止が延長となれば、旅行業界の悪化に歯止めが掛からず、深刻な状況に陥ってしまう (旅行代理店)
	企業 動向 関連		・春先に向けて新型コロナウイルスの感染が収束に向かえば、イベントも復活し、明るい兆しが見え始める。感染状況次第で広告市場はプラスにもなればマイナスにもなる (広告業協会)
			・新年度へ期をまたいで契約する案件の受注が見込まれるものの、コロナ禍による民間投資減による受注量低下は避けられないと推測される (建設業)
	雇用 関連		・新型コロナウイルス感染症の影響で、景気は悪くなっている (学校 [専門学校])
その他の特徴 コメント			：新型コロナウイルスワクチン接種開始への期待感もあり、経済活動が活発化するものとみている (百貨店) ：飲食店関係を相手にする広告業者、代理店は業績が悪化している。イベント中止により印刷物の受注残は前年比で2割ほど落ちている (出版・印刷・同関連産業)

(D I) 現状・先行き判断D I (東北)の推移 (季節調整値)

